夕刊 磐城新聞
八月三十一日發行
(日曜祭日翌日休刊)
東京振替一〇八五五六番
發行所 磐城新聞合資會社

天氣豫報 小名濱測候所發表
今晩も明日も北東の風曇驟雨模様

南洋見聞記
西崎生

三

やなら立ち上つた酋長は感慨深げな面差しで白銀の月光の輝く下に突立つ、衆は酋長の顔を、果して言はんとする一言一句に、最大の期待を掛けた彼等は沈默の中に力強い胸のときめきを感ずるのだ

『諸君、內地は光りの國である。吾人が言わんとする處はたとへ數千萬言を費したとて形容の出來難いものだ。須らく知らんと欲せば一度行つて見るより外はないだらう』之で酋長の演説は終りだつた

然し乍ら村人はこんな事で滿足を得たのかしら、無事り酋長の姿を見た丈で喜んで歸つて行つた

會の終つた後少壯年の評議員が殘り『ところで諸君銀座つて路の兩側に灯のついた綺麗な筋だ、そして各家が向きあつて並んでゐるのだ、我々も一つ銀座を眞似様ではないか』酋長の云ふ言に滿場一致賛意を表した彼等は、早速椰子林、マングロツプの林を切開いて幅三間もある道路を造つた。そしてあちらの谷間の一軒家こちらの山の一軒家等を全部其の道路に並んで集めた。それからが銀座をシムボルする光だ、電氣を持たない彼等は不夜城の憧かれから石油ランプを軒毎につるした。それも燃料不足の彼地では到底、永續性のあるものでなく最近南洋廳が命令してランプだけは撤取除かした。思ひ出しても愉快なニュースではないか

黄昏
新井貫美子

しのびやかに迫りくる黄昏
朱と水色とねずみ色の
複雜な水彩畫は完成された
ミレーの晩鐘にも似た夕ぐれ
人生の老年期にたとへるには
あまりに美しい黄昏だ
やがては消ゆる黄昏
永遠に闇に去り逝く
冬の日し今日の黄昏
詩の箱におさめたい
麗はしの一瞬よ!

9月1日

△上野青森間鐵道開通(明治二四)△國民府解燕を宣言(大正一一)△關東大震火災(同一二)△竹久夢二歿(昭和九)

贈君島新知事
珠雲 小野務平

蒼生百萬幾酸辛
知縣多年待鳳麟
今日邀君齊拍手
精誠只合任經綸

消息
○島田忠夫氏 東京市淀橋區西大久保一ノ五一五(電四谷三一八七)へ移轉

講談 妖刀流轉 (180)
邑井吉演 佐々木令朔吉畫

意外邂逅 (七)

妓夫や仲居達の景氣のよい聲に迎へられて、ドヤ/\と入つて來た武士の中に、一人年若い武士が遠慮して引返さうとするのを外の連中が、手を掴まへて放さない

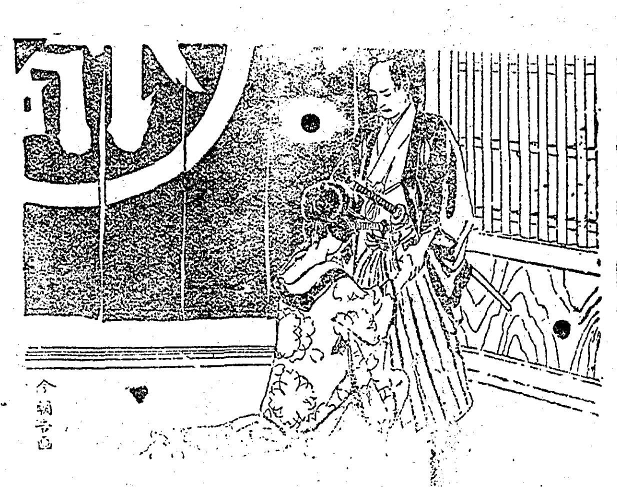
○『コレ/\野暮堅い事を云つて何うするのだ、今さら後を見せるとは卑怯だぞ、いゝから上れ、何でも交際へ』

と引張上げるので若い侍は困つてゐるのを、張店の中で見て居たお職女郎の今紫といふ女が、ハツとした様子で立上つて參り、物をも言はずその若い侍に縋りついた

おこよも暖簾の蔭から若侍の顔を見てのけ反るばかりに驚きました

おこよが息も止まる程、吃驚したのも道理で、今朋輩の友人數名に伴はれ、橋本屋へ入つて參りました若侍こそ、遠藤一家の人々が片時も忘れず狙つてゐる怨敵の、廣瀨軍藏で御座います

危なく聲を立てようとしたのを、辛ふじて堪へたおこよが心を靜めて様子を見てゐると、お職女郎の今紫が、アレと云ひながら張店を立上り、轉ぶが如く走りよつて、軍藏に取縋り嬉し泣きに泣いた



軍藏も思ひがけぬ事とて吃驚したが、よく/\見ればこは如何に、これぞ今迄行衛を案じてゐた初戀の情婦、吉原の若梅が此處へ住替へて居たので御座います

軍『オウお前はおちか』

と思はず軍藏が今紫の手を取つて引寄せたが、心づいてハツト赤面の様子、この體を見たから堪らない醉つてゐる朋輩の連中

○『ヨウ/\色男、手きびしいぞ程にしろ』

ドツト聲をあげて囃立てる、モウ斯うなつては否も應もない、サア/\と一同で軍藏を引張り上げる

何で軍藏が此處へ參つたかと申せば、麻布古河青木甲斐守のお屋敷へ、新規お召抱へになつた軍藏の大館九郎兵衛、中川新左衛門の養子居をしたから今は改めて中川九郎兵衛と成つた、處が青木甲斐守この度當番に府中へ勤役三加番の中一加番を青木甲斐守が勤めるに就て、中川九郎兵衛も腕前の拔群な事が主君のお目に止まつて居ますから、選拔されてお供を仰せ付けられ、中川へ養子になつた早々の日早急に江戸を立つて此府中へ參りお役屋敷へ住ふ事になつてこの夜朋友に誘はれ、二丁町の遊廓へ素見に來たところ、圖らずも絕へて久しき若梅の今紫に出會したといふ次第

今紫は思ひ煩ふ軍藏に逢へたのですから大喜びで、片時も傍を離れない、附いたつ切りで、無論此女が敵娼と極る、

他の連中もそれ/\合方を定め、大一座だからワイ/\といふ騷ぎ

おこよは確に軍藏に違ひないと見定めたから、サア何うしたらよからうと飛立つ思ひ、一刻も早く、この事を主人の處へ知らせ度いと思つたが、自分は目見得に來てゐる身體、飛出して行く事も出來ません、その中に先方へ氣取られては大變だから、騷ぎ立てゝは成らないと、無理に氣を落つけようとするのだが、胸はワク/\するばかりで、居ても立つても堪らぬ思ひ

只今なら一寸駈け出して電報を打つといふ手もありますが、不便な昔のこと、そんな器用な眞似は出來ない

悶々すれば時刻が立つ、サア何うしようと氣がもめる、此處に思ひがけぬ間違ひが起きるお話し

渡邊武門君送別句會
八月廿七日午後六時より北斗莊にて
兼題『葛の花』 即題『稻妻』

(一)

谿深く水音澄めも葛の花　武門
雨の時も葛の紫匂ふなり　松堂
葛の花朝雨白く湖うてり　戀山子
葛原に風たち花の白う見ゆ　石城
葛咲ける野を拓くへく家建てぬ　欣々子

大和おみなの誠を稱ふ
渡邊松久

上

今や吾人は世界文明史の動向と、日本の客觀的情勢を洞察する時に、野にも山にも非常時の聲は充ち/\てゐるのだ

此の時にあたり日本民族の使命を双肩に負ふてゐる若き皇女等の士氣の沮喪せぬを靜思するに堪えず、獸視するに忍びず此處に女誠録を綴る

韓國の城の上に立ちて
大葉子が布振らすも日本へ向きて

と、その古りし代に戀々切々として悲願の歌をくちずさみつゝも、夫ツキノイキナと共に悠々として極刑についた、その妻大葉子の悲しくも雄々しき皇女無上の叫びを想ひ想ふ。我等は此處に日本女性の深き誠を思ふ。それは我等の生命以上に生命であり、我等の實在以上に實在であるからだ

わが夫子は物な思ひそ
事しあらば火にも水にも我なけなくに

(額田女王)
君待つと我が戀ひ居れば吾が宿のすだれ動かし秋の風吹く

(同)
君が行く道のながてを繰りたゝみ燒き亡ぼさむ天の火もがも

(狹野茅上娘子)

と歌ふ

精神病科 腦脊髓病科 神經病科
福島縣立代用精神病院 內務省指定
郡山驛より約三十丁 安積中學より約五丁
郡山腦病院
郡山市外大槻村針生 電話九二五番
入院隨時 院長醫學士 金森丘郎

產科婦人科專門
根本醫院
平市南町五二 根本莊次郎 根本貞雄 電話三四番
(手術室完備)(入院隨時)

齒科一般
齋藤醫院
平市田町(安齋醫院向)
東京齒科醫學士 齋藤賢三

耳鼻咽喉科專門 醫學士 鈴木正男
平市田町(電話五八番) 藤田女學校前
『入院のお需めに應ず』(看護婦及び見習看護婦募集)
齒科口腔外科 日本齒科醫學士 鈴木喜政
內郷村高坂磐炭病院前
鈴木醫院

小料理
淺酌低唱の御相手に藝者さんもはいります。
翠月
平市・仲田町

平市田町
高久病院 (電話五三一番)
醫學士 高久忠
新潟醫學士 赤羽清
藥劑士 佐竹菊雄
內科 外科 小兒科 耳鼻咽喉科 花柳病科 レントゲン科

產科婦人科 醫學博士 五十嵐雄二
往診隨時 平市新川町『電話三六九番』
病室增築、手術室完備

耳鼻咽喉科專門
大和田醫院
平市南町一六番地 電一七〇番
(入院隨意 病室完備)

時代の要求皆様の足!!
尼子タクシーへも豆タクが入りました。
御玄關から玄關へ…迅速簡便 是非御利用を……
市內…三〇錢 市外…四割引
流線型セダン、大型貸切バス
宮行ー直通は二丁目尼子自動車部より發車いたします。
平市二丁目 尼子自動車商會 電話六四〇番

御みやげ……に 御贈答……に
味に包裝に 郷土色豐かな
潮の華 (一本十錢)
進物用 50 70 1.00
平市五丁目 泉屋菓子舖 電話六六八

豆炭、コールタール販賣
一、品川豆炭
大袋 五貫匁入 金七十五錢也
小袋 壹貫匁入 金二十錢也
壹袋カラ配達致シマス、ドウゾ御注文下サイ。
一、コールタール一本(十五キロ入) 金九十五錢
一本ヨリ配達致シマスカラ是非御試ノシ下サイ。
電話三七番
平驛前 阿部石炭店

互融會事業近況
事業報告 昭和十二年七月中
融通口數 一三四口
融通金額 七、三三〇、〇〇
滿期拂戻金額 二四口
滿期拂戻金額 一、〇五〇、〇〇
概況 昭和十二年七月末現在
會員數 七、八〇〇口
會員世帶數 五、一二四戸
積立金額 九七、四九二、五七
融通金額 三九、四四一、〇七
回收金額 四九、六九三、四〇
滿期拂戻口數 一三三口
滿期拂戻金額 一〇、九五五、〇〇

一、社會公共事業及慈善事業ヘノ奉仕
一、精神修養講話會
一、會員ノ吉凶慶弔
一、會員相互見舞
一、人事相談及婚姻ノ媒介
一、診療救血ノ補償
一、稅金ノ代納事務取扱
一、會報發刊
一、節儉日積立金ノ獎勵
一、小資本金ノ相互融通

太平火災海上保險株式會社平中央代理店
石城中小商工互融會
事務所 福島縣平市掻槌小路一番地 電話五五五番
小名濱方部 小名濱町古湊
湯本方部 湯本町裏町
菊田方部 植田町登町
相双支部 原町東一番町

日本一 ニッポン・魚は凍魚
特約 日本水產 平製氷會社 電二三八・三六番
鯛 甘鯛 エビ マナ鰹 白魚 帆立貝 ワカサギ ウニ貝燒
ヒノマル凍魚
配達ハ一尾一箱ヨリ迅速ニ致マス。
平市四丁目 虎屋ト印魚問屋 電五二八番

診療科目
一、齒科一般
一、保存科、補綴科、繼續架工科 齒列矯正科、小兒齒科、齒槽膿漏科
一、口腔外科
一、レントゲン科
中野齒科醫院
院長 日本齒科醫學士 中野庶次
日本齒科醫學士 西川誠
(見習看護婦募集)
平市田町(松月堂向ヒ)(電話五〇九番)

良き程の雨を望んだ 二百十日は平穏無事

但曇り勝ちになつて涼氣は增さう

測候所 空の打診

昨三十日の夜は依然眞夏の寢苦しさであつたが明日に二百十日を控へた今朝は流石に一脈の清涼を漂はせて愈よ愛嶺も山が見れた形ちである。常ならば初秋の氣さはやかなるべき八月が日照りに明けて日照りに終り明日は今年も九月である。處で農家の運だめし、明日の二百十日はどうであるか、小名濱測候所の觀測を聽く

明日の豫報は『北東の風曇り、驟雨模樣』で先づ以て平穏無事と云つて良い。高氣壓は七六六ミリを示してオホツク海に在り、東高西低に發達し、氣壓の配置が梅雨どきの形らで悲圖つきの天候から曇り勝ちとなり、多少雷雨を兆して居る。弱い低氣壓が目下日本海中部、能登の輪島附近から濱松方面へかけて動いて居り普通なれば雷雨が伴ふ事を豫想出來るが、今年の習慣性から觀て多少の驟雨はあるにせよ本格の雨を齎す誘因としては問題にならない、要するに今後も當分は曇り勝ちになる丈けで急激に雨の來さうな模樣は見えない。云々

增收五分內外確實

適順天候に惠まれた 郡下の水稻作柄豫想

郡下の水稻も明一日から十日の厄日を越せばもう大丈夫。今の處では大した荒れも無さうなのでお百姓連は早くも『實りの秋』を樂しんでゐる、今年の作況は關係筋の調査によると平年に比して增收五分內外は確實との折紙がついてゐる

これは苗代稻作の雨期を通じ高溫多濕の適順天候が持續したお蔭で縣下の作柄も概して良好な發育を保つてゐると云ふ

甘美な匂ひを發散して 味覺の秋至る

地元產の梨、葡萄出廻る

雨不足で粒が太れず困つた——と愚痴り乍らも漸く收穫季に入つた地方の梨子や葡萄は、それでも昨今弗々出廻つて町の店頭に、驛附近の鋪道の露店に口水の走る甘美な香りを發散して頻りに行く人の味覺を唆つて居る、値だんは早天續きの減收から幾分高目を見せてゐるが豊凶に今後の天候に支配さるゝ點が多いので差當り今後の實際をトする事は出來ないが假りに若干の値上りがあつても愛好者が味覺慾を手控へする程のこともあるまい。殘炎消えて夜ともなれば四邊にすだく虫聲喞々として雨の如くしげく、世は擧げて紛ふ方なき梨子葡萄の時代に入つた

小麥指導地

郡下四ヶ所の打合會日割決る

小麥の品質改善と多收穫を目指してゐる縣では今回全縣下に亘つてこれが實地指導地を設定した、本郡では勿來町酒井關根 大浦村細谷 澤渡村堀の內 植田町佐糠の四貫行組合に各一町歩宛の指導地が設けられ理想的な小麥栽培の實地研究が進められることゝなつた、よつて郡駐在吉成技手は左記日割により關係組合員を集めてこれが設計の打合其他今後の方針を指示、協議する因に郡下の小麥栽培反別は六百九十町歩に上つてゐる

三十一日植田 九月二日勿來 三日大浦 四日澤渡

眞崎總務部長初巡視

あす湯本から濱通りへ

眞崎總務部長は明一日から三日間左の順序で郡下の初巡視を行ふ

一日午前—湯本役場 植田警察署 町役場 鮫川橋 勿來町役場 午後—小名濱町役場 同築港事務所 水產講習所 同試驗場 同工業會社 測候所 中の作漁港 江名漁港 豊間漁港 縣立回漕園 平泊

二日午前—平警察署 稅務出張所 土木監督所 平市役所 區裁判所 夏井川改修事務所 鎌田橋へ

此際あたし達も…と 女給さん達奮起

熱の銃後運動繼續

市內十六軒のカフエーに働く四十名の女給さんは去月中一人當り十二足位宛の靴下に一々若い女性の純情を籠めた通信文を添へ合計五百足に纏めて在滿支兵に贈るべく市役所に寄託したが其後更に大日本カフエー聯盟の軍用機カフエー號獻納計劃に共鳴し去る一日以降愛國一錢貯金を勵行し昨三十日締切つた處、二十一圓八十一錢に達したので之を聯盟仙台支部に送つたが右は弘く同業者を一丸として全國的計劃であり大阪市某の如き資金として單獨で二萬圓の獻金者さへあり其の成果は非常な期待を以て迎へられてゐると、因に市內カフエーの一錢貯金は今後も繼續し最も有意義な時局關係の使途に充てる筈であると

小名濱でも 目標は一萬圓

小名濱町では三十日午前九時から急施町會を開き『小名濱國防後援會』の結成を決議、同十時から各種團体

以下の役員を選任、軍人遺家族慰問費として一萬圓を目標にこれが募集に着手した

獻金一束

○平土木監督所員一同で七圓七十二錢を縣當局へ

○平市聯合青年團員は小遣を節約した百八十一圓十九錢を慰問金へ

○平第一校生徒篠原仁平君外十一名も小遣錢を蓄へた三圓五十七錢を國防費へ

○市內田町金古キミさんは五圓を軍事後援會へ

○同町高久忠氏は十圓を、又同病院の看護婦さん一同で慰問袋四個を何れも市役所へ

○內郷村小島坂本義憲賢五郞の兩君は各三圓、好間村廣畑長谷川ケイ子さんは一圓十三錢を何れも平署に獻金寄託

慰勞會を廢止して

鎌田六番組の美擧

市內鎌田町の延命地藏尊大祭は同町六番組の當番で二十八、九の兩日に亘つて執行、餘興の軍事映畫などで賑はつた、從來ならば終了後組員の慰勞會を催すのが例となつてゐたが同組では時節柄これを取り止めその剩餘金十圓四錢を國防費として三十一日市役所へ寄託した

尙同組では前記地藏尊へお瓶二個、打鐘綱を寄進した

特別町村調査打合

市町村務教育費國庫負擔法による十三年度特別町村調査打合會は郡下を左の如く二分して縣教育會館に開く

九月二十八日植田町外十四ヶ村 二十九日飯野村外十六ヶ町村

現金泥に二年六月

既報、溜金を盜んだのを手始めに炭礦地帶を荒し廻つた現金泥—東京市荒川區瀧久町生れ前科三犯吉田忠雄(三二)の公判は三十一日平區田中裁判長、大脇檢事立會で開廷

以前起訴猶豫の恩典に浴しながら再び邪道に入るとは斷じて許せぬと懲役二年六ヶ月を求刑、判決は明一日午前十時

—武運長久祈願— —あす縣社にて擧行—

縣社子鍬倉神社では明一日午前九時から市出身軍人の武運長久祈願祭を執行するが該當者全部に神札を贈る筈で各區の書き出しを取纏め中であると

意氣を示した

會長—小野晋平 副—高木保 志賀要平

九月暦

厄日も濟んで…… 實りの秋へ

學童は緊張の二學期

新涼や芭蕉の破れ葉切りしより　句佛

殘りの暑さも法師蟬の聲のうすれ行くと共に去り、露もしげなる朝夕は單衣の襟をかき合はすうそら寒さを感じる。目にも見ねず忍び寄る秋は早や木の葉の色に……あすから爽涼九月に入る

厄日の一日は大震災記念日、追憶の淚も新に人々が『酒無し』の緊張さを示す時可憐な小學兒童の面にも二學期への緊張味が漂ふ。

二百十日の後厄もどうやら事なく濟んで丹精酬ひられたお百姓連が始めてホツ!とする頃は六大學のリーグ戰況が毎日ファンの胸を躍らして行く

夜風が渡る黍の葉の彼方に上弦の月が淡い秋の感傷を湧き起す十三日は乃木祭である、そして二十日の彼岸入りには月も皎々たる滿月だ、いはゆる仲秋名月。舊暦を重んずる地方ではまだ一ヶ月位の間があらうが都人は歌に句に——一宵千金の靜夜を讃へるだらう

二十三日は彼岸の中日——日もだいぶつまつて職人衆はそろ／＼夜業を始める頃となるので、可愛や弟子達の口にする『彼岸のボタ餅』は昔からホロにがい味を含んでゐるとか、下弦の日(二十七日)も心なしか曇りがち

一日　戰勝新嘗祭(縣社子鍬倉)
二日　横濱高工夏季巡回『時局と工業』講演會(第三校) 軍人家族保護市町村扶助主任會(平市會議事堂)
四日　閼伽井藥師祭
五日　体協石城支部主催郡下一般陸上競技選手權大會(磐中グラウンド) 第五回三大炭礦水上選手權大會(入山プール)
八日　東亞同文書院支那學術後援會(第三小學校)
十一日　二百二十日
十二日　神谷農試分場試驗田稻刈り
十五日　縣社飯野八幡大祭

戶田航空兵曹町葬

來月五日湯本で執行

今次事變に際し國防の第一線に玉碎したる名譽の海軍二等航空兵曹戶田堅太郞君の葬儀は來月五日午後二時から湯本町葬として同町小學校校舍校庭に於て執行さるゝが時局柄非常な盛儀を豫想されてゐる

目指すは一萬圓

きのふ創立總會で 平市軍事義會改稱

軍人並に遺家族の慰問を目的に結成された平市軍事義會の創立總會は三十日午後一時から平第三小學校講堂に開き總會に先立つて『平市軍事後援會』と改稱

今後は五千圓を更に倍額の一萬圓として募集すべく近く評議員會でこれが募集方法を協議する

獻納の申出

入遠野村字入遠野業者信さんは三十七日自己飼育の青毛牝馬(價額三百圓)三頭の獻納方を申出た

第二校籠球選手決る

平第一校では來月十一日行はれる籠球大會の出場選手を左の如く決定

△尋常科—相澤文雄 小林薫 加藤慶祐 佐藤信男 濟田泰 加藤政尙 酒井一雄 藤居喜一郞 高橋恒雄 門馬照夫 樋口秀哉 吉成方哉 阿部榮一 蛭田清二

△高等科—渡邊利長 船水義夫 久栖康道 矢代弘淑 吉成三郞 會田誠司 國府田善之 高橋滋 菅野卯之吉 木下勝三 齋藤茂文 齋藤清次

女、恐ろしや

所嫌はず嚙みつく

双葉郡上岡村字夜の森料理業兼宿屋業岡本兇內妻三瓶タカ(三〇)は三十一日同町林豊治(三五)に傷害で平檢事局に告訴された

この女、去る七月三十日夜十二時頃女だてらに泥醉の上街路を通行中通り合せたハイヤーに飛び乘らんとし、同乘の豊治さんに拒絶されるやカツ!となつて豊治さんの右足及右拇指に嚙みついたと云ふ恐しい女

。。。。。大町衛生區長改選。。。。。

市內大町、十五丁目衛生區長に山野滝留治氏任命

鼠賊。

內郷村宮字瀧磐城炭礦雜夫吉田竹藏(四五)は七月以來ワイヤーロープ三百圓分を窃取、同村綴古物商小椋藤吉に密賣したこと發覺、平署に檢擧

武術大會延期。

在郷軍人分會の武術大會は既報の如く來月五日催す筈であつたが都合で十二日に延期された

募集

一、少年工員　二名

小學卒業程度にして市內居住のもの、至急來談あれ

磐城新聞社

秋繭取引況

三十日

△四倉—高四、四〇 安三六〇 馴四、一八 掛目三三 出廻一、〇〇〇

△植田—高四、二〇 安三七五 馴三、九〇 掛目三三 出廻三、〇〇〇

辭令

石川縣七尾中學教諭 多田傳三 任磐城中學校教諭

磐城中學校教諭 大淵彌次郞 命佐賀縣出向

一日

(小名濱測候所發表)

滿潮 前 後 四、〇〇

干潮 前七、四五 後七、五〇

九月一日 水曜 辛卯 先負 危 壁宿 新七月二十七日

諸判定處需 東京市本郷區湯島四丁目 高島易斷總本部 神宮館

▲一白 新規計畫は至極適當にて前途有望なる吉日▲二黑 智能を顧みずのぞみのみ大にして失さくを見る日▲三碧 危期身に迫るを以て輕卒に行動すべからず▲四綠 柔能く剛を制す長上けん者の意見を重用せよ▲五黃 口先のみにて實行の伴はざる不誠意は慨かい▲六白 窮處なるおすれば安全

…な保つ病床熱嶺疋い▲七赤 萬事失敗に陥し覇王甚しからん▲八白 いうわくに陥りていい外の災くわを招くべき危險日▲九紫 悪氣に不足は無きも勢に任せはつまづきを生ず

最も正確にして解り易い……

最近支那大地圖 附 滿蒙及上海市街圖 定價七拾錢

事變關係 最新北支那詳圖 定價二十五錢

官報附錄時局詳報 內閣印刷局 週報 一部五錢 月四回水曜發行

販賣店 マルトモ書店 電二一二四 二一三四

廣告

おでん 一平(イツパイ) 電話二六三番

平市新川町 木村病院 電話一六七番

初夏の氣分と行届いたルーム お出をお待ち致します。

珈琲とグリル 御食事 パツカス 電七〇二

女店員募集 全部給料制度 品位良き方を求む 經驗無き方も良し

七夕まつり

奉仕特賣當籤發表

去る八月十一日より三日間の奉仕特賣は、格別の御引立を賜り非常な盛況を呈しました事を、茲に厚く御禮申上ます。規定に從ひ八月廿日特別景品の抽籤を嚴正公平に執行の結果、左の番號が當籤致しました、當籤の各位は抽籤券に御住所御氏名を記入の上左記へお出でを願ひます。

平市田町十九 景品引換所 白菊 廣瀨支店 電五四番

一等 ヒゲタ醬油十六立入一樽(六本) 15 62 117 149 238 244

二等 手提金庫一ヶ(九本) 102 108 122 133 155 172 221 255 298

三等 シャープペンシル一本(三十本) 4 8 19 36 37 46 52 58 63 89 92 110 111 116 166 474 196

四等 五錢商品券 全部 201 204 206 212 226 241 243 256 261 262 268 274

◎景品は九月一日より十日迄に抽籤券引替に差上ます。尙期日後は無效となりますから御諒承願ます。

純菜種油製油

菜種油粒粉末肥料製造

保證成分量(本品百分中主成分量) 窒素全量 五・三 燐酸全量 三・四

卸小賣 力 平市一丁目 白土屋製油所 電話三六四

耳鼻咽喉科 高柳醫院

(入院應需)(自動車ノ便アリ)

醫學博士 高柳博明 平驛前(電三三六)

外科、內臟外科 エツキス光線科 ……新設…… 產婦人科

院長 安齋徹 醫學士 黑澤廣

入院應需 平市田町 安齋醫院 電話四七五番